

## 小千谷市塩殿 B

調査日：平成 16 年 11 月 8 日(月)

班：地盤土構造マネジメント班（龍岡・豊田・平川・中島）

分類別：被災状況

キーワード別：一般道路、盛土

### 調査結果

国道 117 号線小千谷市塩殿付近において、盛土崩壊箇所が 2 カ所生じた。崩壊箇所は、悪沢川上の高盛土(盛土 1)と悪沢川より川西町方向に約 300 m 離れた盛土(盛土 2)である。

悪沢川上の高盛土はブロック積み擁壁で法面補強されている(図 1)。崩壊は、信濃川方向の斜面に生じた(写真 1 & 2)。盛土材は礫混じり粘土が使用されているようである(写真 1)。

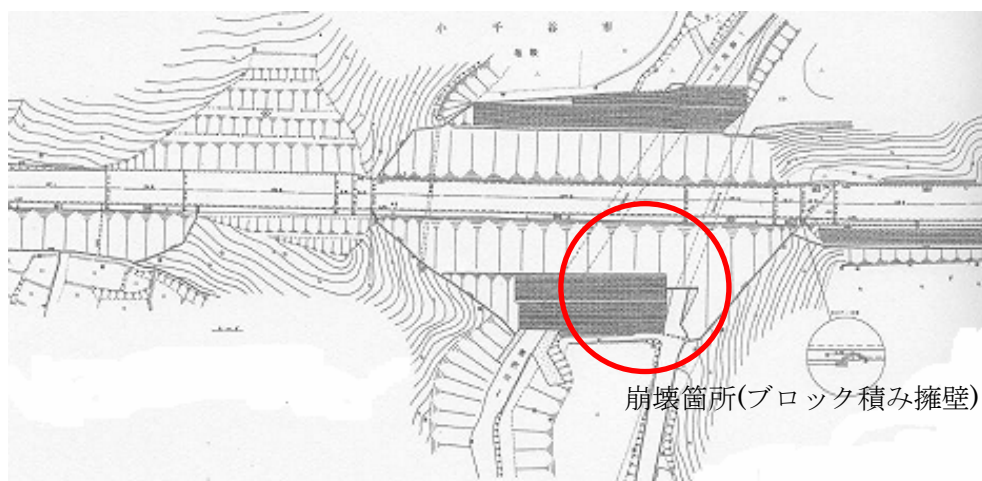


図 1 国道 117 号線小千谷市塩殿の盛土崩壊箇所 1(道路台帳;昭和 61 年作成)



写真 1 盛土崩壊箇所 1 の状況(川西町方向)



写真 2 盛土崩壊箇所 1 の状況(越後川口 IC 方向)

他方の盛土崩壊箇所(盛土 2)では、切盛された構造であり、法面補強は確認されなかった(図 2)。盛土 2 では切土側に被害はなく、信濃川側の盛土斜面の崩壊被害であった(写真 3& 4)。盛土材は礫混じり粘土が使用されていた。

盛土 1、2 ともに法面の自然植生が著しく、震災時において盛土内の地下水位面はそれなりに高かったと推測される。各盛土の排水設備については、調査時には確認出来ておらず、今後調査する必要がある。

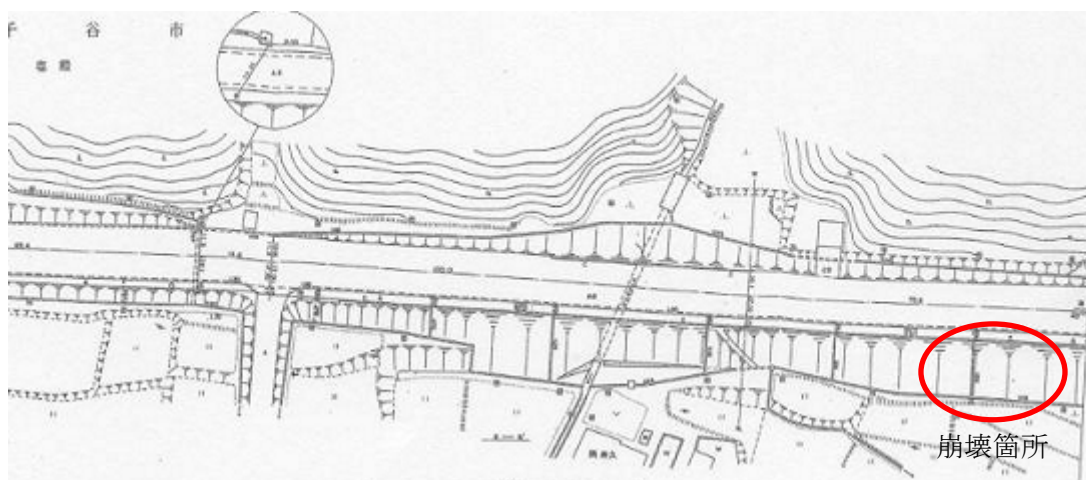


図 2 国道 117 号線小千谷市塩殿の盛土崩壊箇所 2(道路台帳;昭和 61 年作成)



写真 3 盛土崩壊箇所 2 の状況(川西町方向)



写真 4 盛土崩壊箇所 2 の状況(崩壊状態)